

# 私たちの思い…機能性食品工業を中山間農業地域へ

## 世界規模の食糧問題解決策をモデルケースとして飯南町で創造

地球温暖化の影響で海外では農地の砂漠化が進み、日本では集中豪雨による水害が多発しています。

新興国の食文化の変化や世界人口の増加により近い将来、深刻な食糧問題が発生すると予測されています。

水資源の豊富な日本で機能性食品工業を創造し国内外市場へ供給することは食糧問題の解決策のひとつになります。

そこで、集中豪雨などの水害リスクが少ない中山間農業地域で農業の振興と機能性を高めた農産物食品工業を興し将来の問題解決につなげていきます。



# 我々を取り巻く環境①

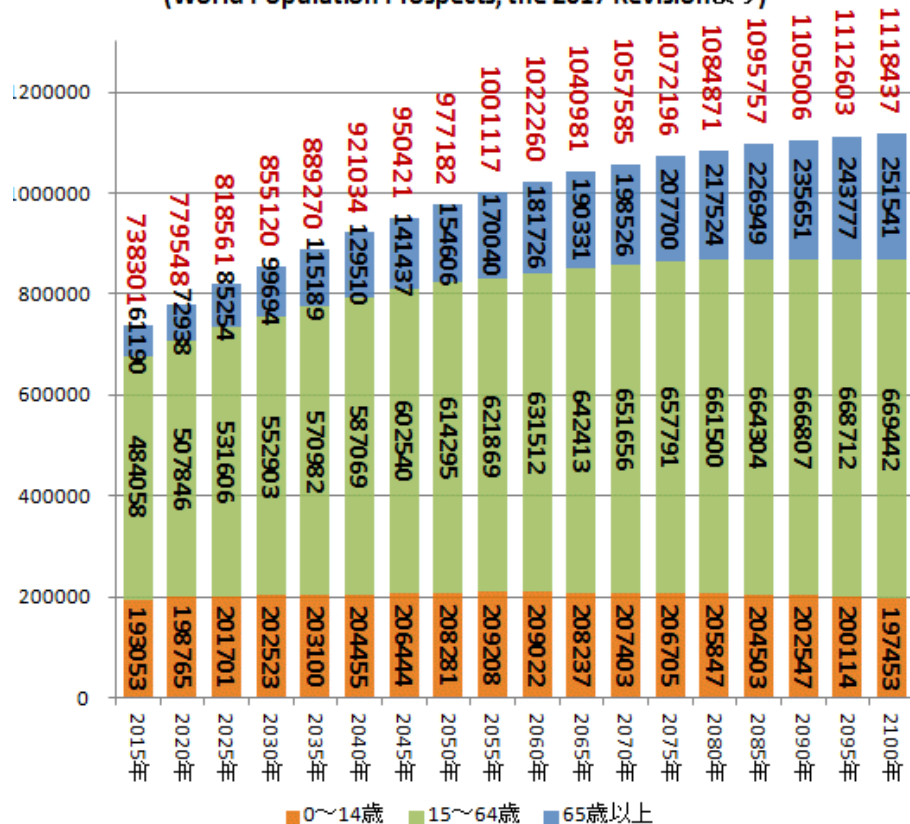
## ■人口増加

日本など一部先進諸国では人口が減少する一方で新興国は人口増加の過程にあり急激なスピードで世界人口が増加すると予想されています。

**2055年には世界の総人口 100億人\*突破** \*国連による推定

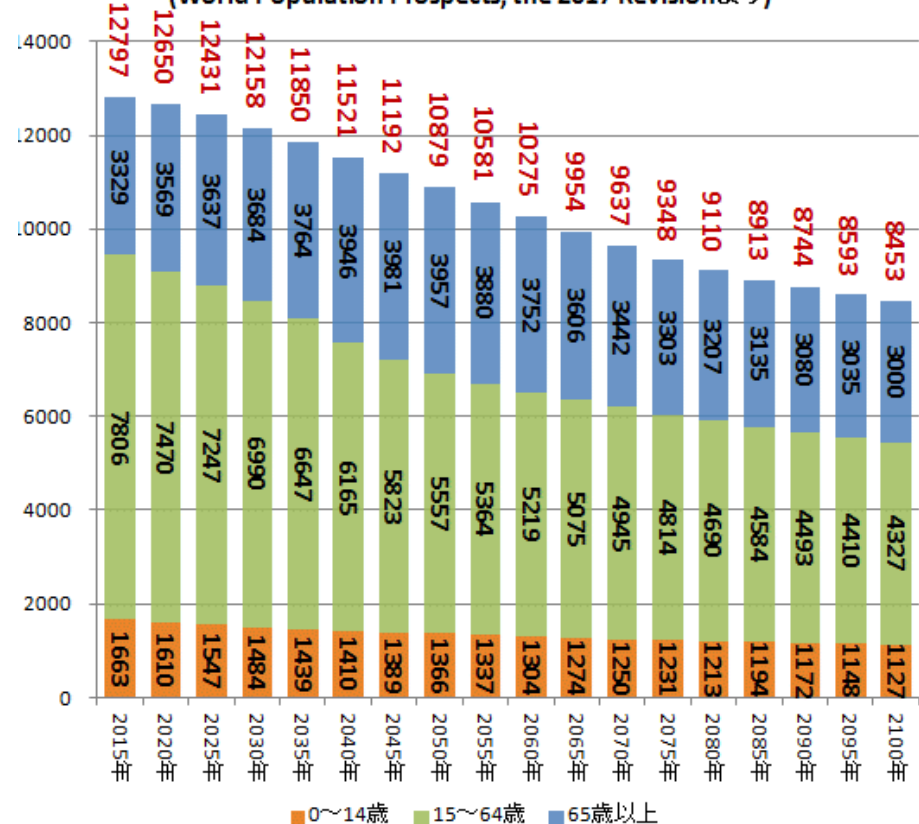
世界全体の年齢階層別人口数推定(万人)

(World Population Prospects, the 2017 Revisionより)



日本の年齢階層別人口数推定(万人)

(World Population Prospects, the 2017 Revisionより)



# 我々を取り巻く環境②

## ■ 温暖化・砂漠化

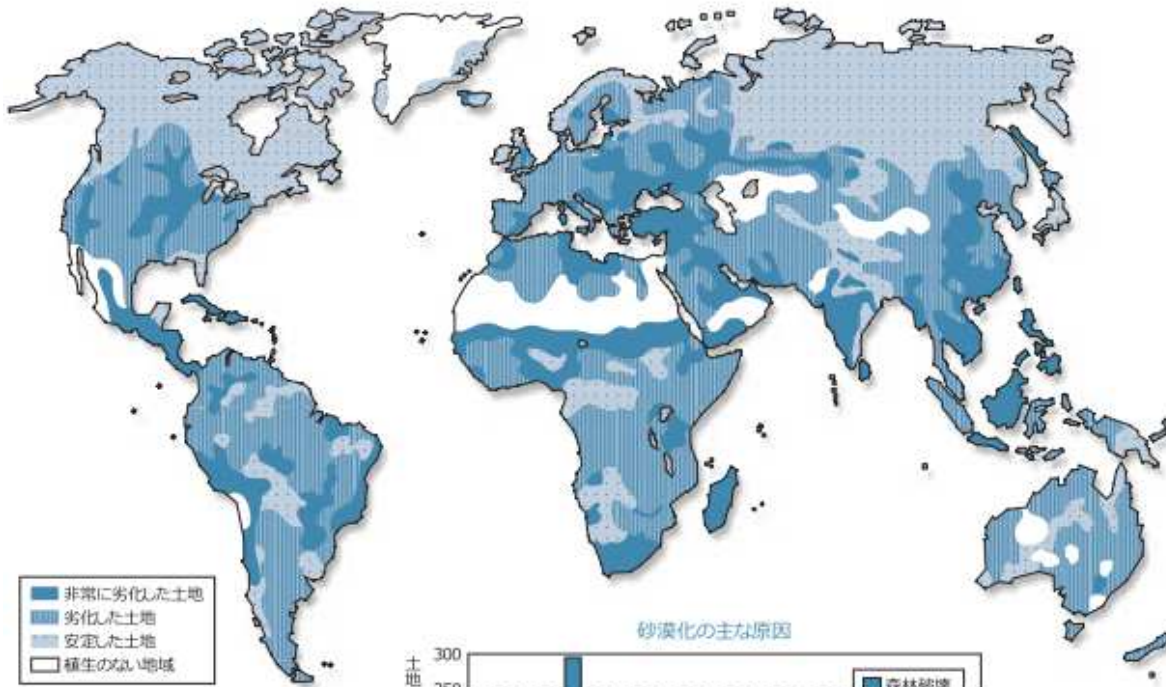
地表の陸地の4分の1は砂漠化の影響を受けています。

今後20年以内に水資源の不足に伴って縮小が予想される耕作面積は、アメリカとインドの耕地面積の総和に匹敵するとも言われています。

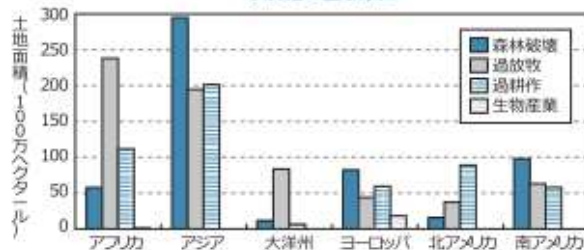
砂漠化危険地図

DATA

出典：砂漠化対処条約 (UNCCD)ウェブサイト、国連環境計画 (UNEP)「UNEP's Strategy on Land Use Management and Soil Conservation」



砂漠化の主な原因



**POINT!**

**砂漠化や新興国の工業化は  
食糧問題をより深刻なものにします**

**水資源の豊富な中山間地域は  
砂漠化や温暖化の影響が少ないことから  
良質な農産物を供給できます**

# 我々を取り巻く環境③

## ■自由貿易(FTA・TTP)

貿易の自由化は日本の農業に大きな影響を与えます。

### 自由貿易が進むと…

安価な農作物が国外より輸入され、良質であるが高価な日本の農作物を『生』のまま輸出しても、世界市場で耐えることは不可能です。

### 先進国の中で最低の食糧自給率

工業国であった日本は他の先進諸国と比較して食糧自給率は最低です。

### 平成24年の減反耕地面積 246万9千ha

コメの生産調整により農家の所得が減少し、農業経営の成立がさらに難しくなりました。

#### 『減反政策』とは??

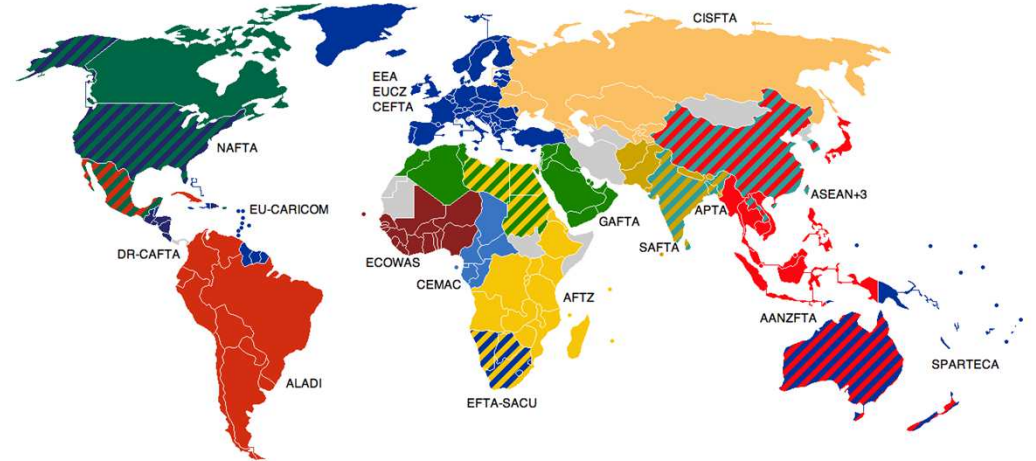
1970年代よりスタート 減反面積100万ha超  
500万t相当の米を減産し700万t超の麦を購入



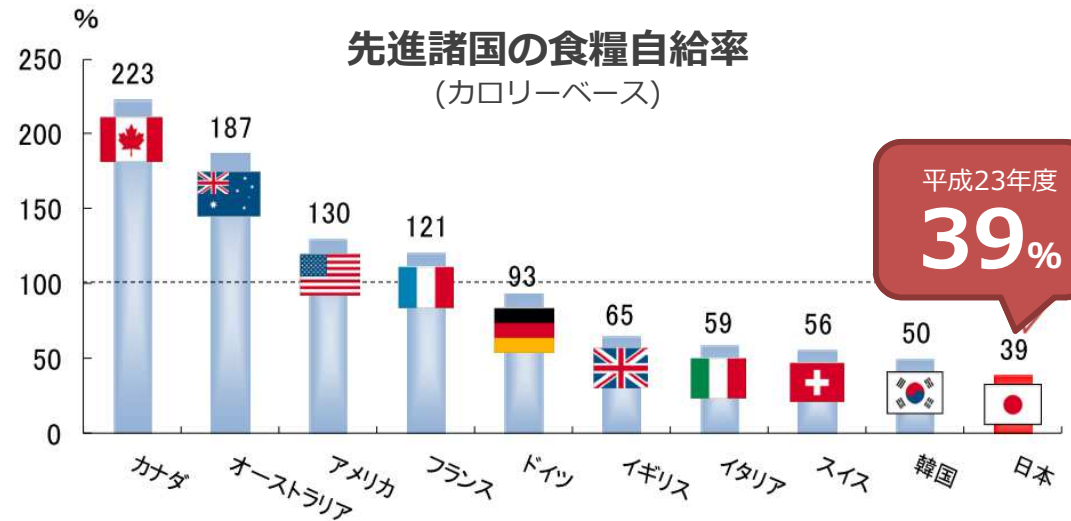
#### POINT!

超高水圧加工玄米は公的機関の  
官能検査・細菌検査で4年間変化がない  
という結果が出たことから  
海外への輸出も可能となりました

## 現在の自由貿易地域



## 先進諸国の食糧自給率 (カロリーベース)



(資料) 農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算した。(アルコール類は含まない。)

ただし、スイスについてはスイス農業庁「農業年次報告書」、韓国については韓国農村経済研究院「食品需給表」による。

(注) 1. 数値は、平成21年(ただし、日本は平成23年度)

2. カロリーベースの食料自給率は、総供給熱量に占める国産供給熱量の割合である。畜産物については、輸入飼料を考慮している。

# 我々を取り巻く環境④

## ■ 食環境の変化

日本人のコメ離れが進む中、2011年度にはパンの家計支出額がコメの支出額を上回りました。現代人の食習慣やライフスタイルに合わせた加工食品の開発が必要となります。

### 食文化の欧米化

パンや麺が主食に

### 咀嚼回数の減少

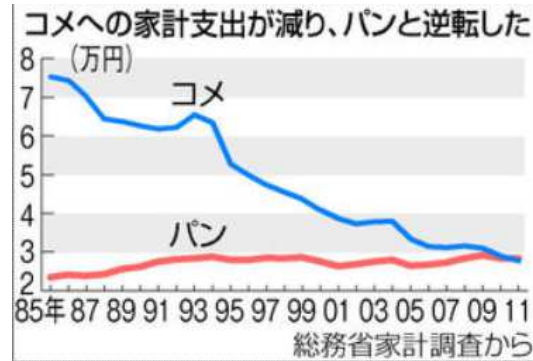
現代：600回

戦前：1400回

弥生人：4000回

### ライフスタイルの変化

共稼ぎ世帯の増加  
スーパーやコンビニの普及



### 食生活の変化



※カロリーベースの食料自給率



### POINT!

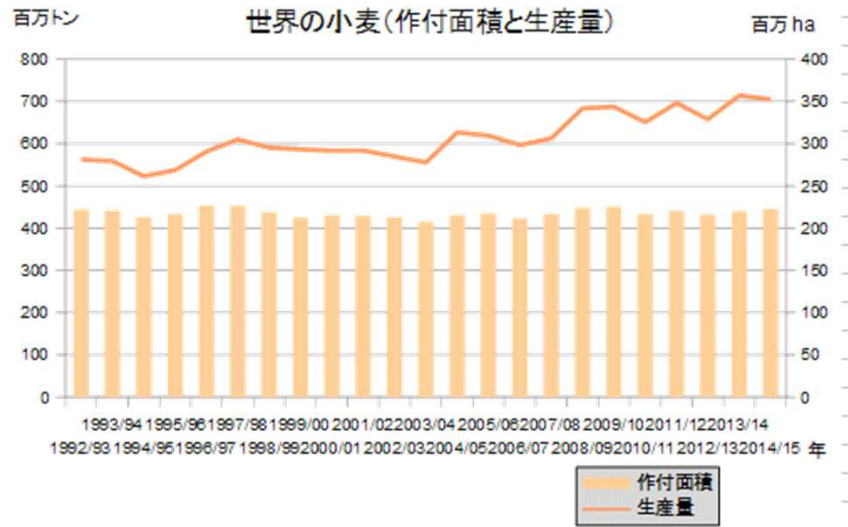
超高水圧加工玄米は、公的機関の細菌検査で雑菌や芽胞菌(カビ菌)がないとの検査結果が出ています

食品加工工場安心して採用いただける小麦粉でしか作ることができなかったパンケーキが超高水圧加工玄米粉で商品化されています

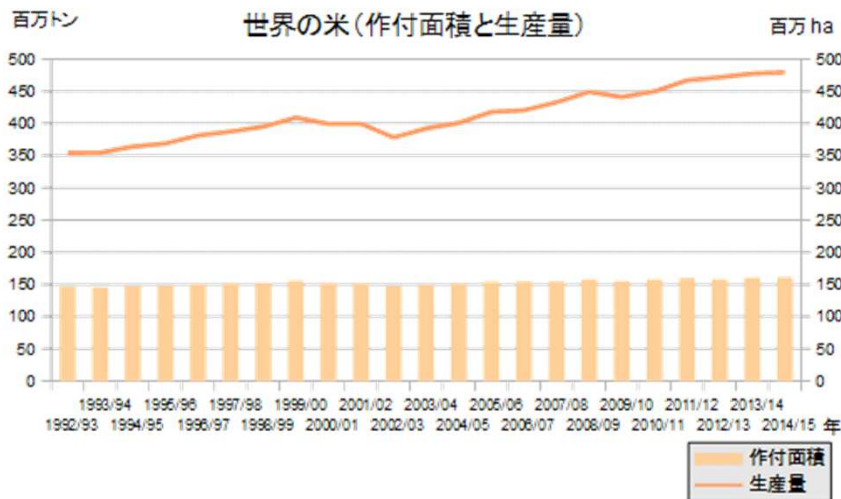
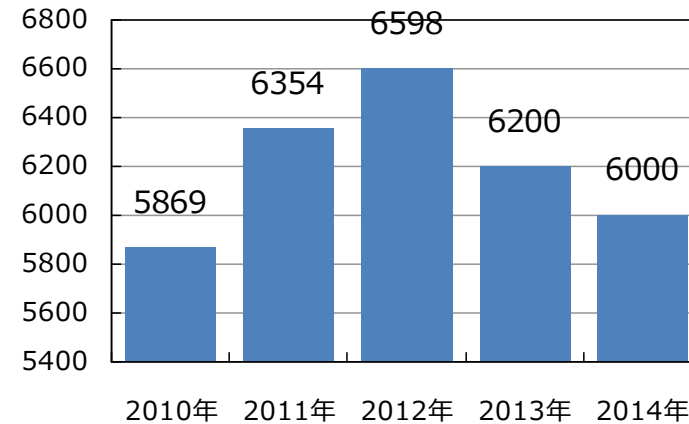
# 我々を取り巻く環境⑤

## ■生産量の推移

世界的には小麦・コメの生産量は増加していますが、日本への小麦の輸入量は減少しています。



### 日本の小麦輸入量



### POINT!

新興国の食生活向上などから  
日本への小麦の輸入量は減少しています  
また紛争などの突発的な要因により  
食糧不足が発生する恐れがあります  
保存技術を使用した超高水圧加工玄米は  
保存原料として最適です

# 我々を取り巻く環境⑥

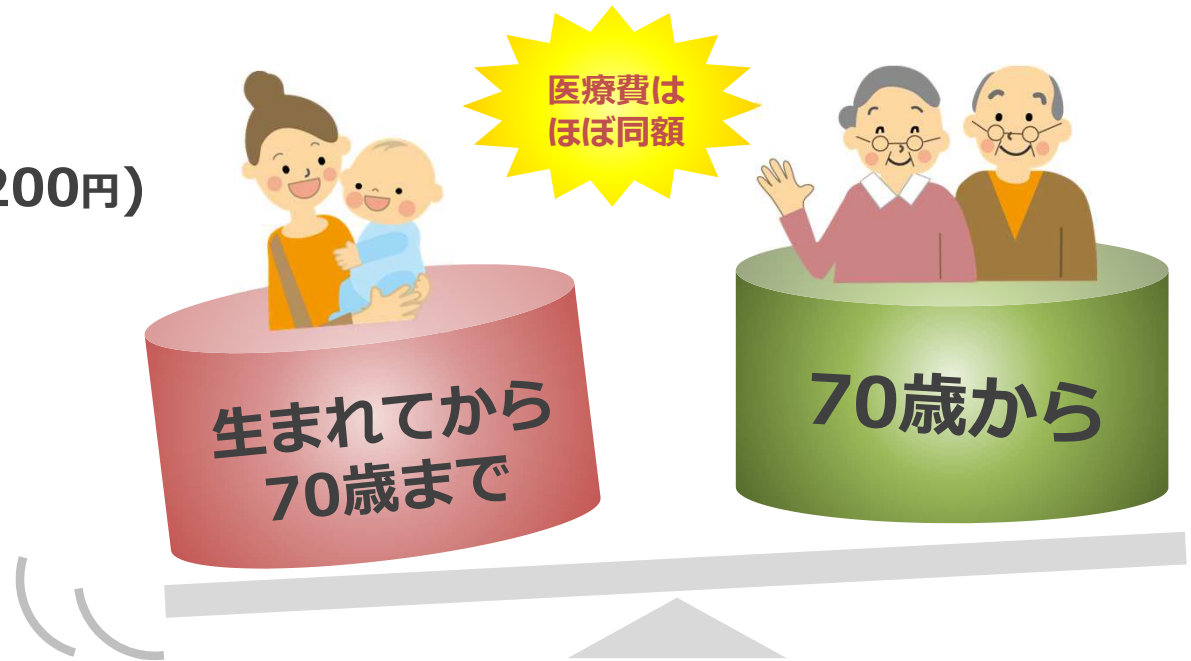
## ■ 国民医療費の推移

高齢化が進む中、国民医療費の圧縮は最重要課題とされています。

【平成22年】 **10%** が老人医療費  
**37兆4202億円** (1人あたり29万2,200円)

## ★ 厚生労働省医療費予測 ★

【平成37年】 **45%** が老人医療費  
**81兆円超** (1人あたり750万円超)



### POINT!

## 未病対策になる食品の開発

国民医療費は今後数年で爆発的に増加すると予測されており、国民医療の充実を図るためには未病対策が重要です。そこで、特別な健康への努力がなくても普段の食事で未病対策になる食品、安価で容易に入手できる食品を開発し市場に広める必要があります。超高水圧加工玄米は、骨密度の改善や認知症予防などに効果的との研究結果が出ており、より手軽に食べやすくしたさまざまな商品が開発されています。

# 中山間地域の優位性

## 加工農産物を日本の基幹産業に！

### 農地の活用

中山間地域に拡大する耕作放棄地や休耕田などを活用した玄米の6次産業化を進め、農家が成り立つ環境を整備します。

### 日本の森林率

国土の約66%を森林が占める日本は、温暖化の影響は受けているものの砂漠化の影響は少なく、農作物の成育に必要な水は十分にあります。特に中山間地域には豊かな森林が数多く残っているため、豊富な水資源を活用したコメビジネスを進めます。

### 有益な立地の活用

多くの棚田を有する中山間地域では、異常気象による水害が比較的少なく、永続的にコメを中心とした農産物を育てることが可能です。

### 起業農業者の誕生

近年、若いU・Iターン農業者の増加、団塊世代の農業回帰など、都会生活にはない充実した農村生活を目指す者が増加しています。都会で習得した科学技術や経営感覚を農業に取り入れ、農産物を加工製造販売することで、安定した起業農業者が誕生します。

**日本の主作物であるコメを活用した  
機能性の高い加工農産物を商品化することで  
中山間地域から『食品輸出国』を目指します**

